

別紙 提案書の記載項目及び内容

提案書は、以下に示す項目どおりの構成・内容とすること。

1. 本業務の概要

(1) 本業務の目的、業務範囲

- ・ 調達仕様書・システム仕様書に記した、本業務の実施目的、範囲等を十分に理解し、業務を確実に遂行するための方針について記載すること。
- ・ 過去5年間で、仙台市図書館と同等以上の規模の公共図書館におけるシステム構築を行った事例について記載すること。特に、本業務と類似するクラウド環境を利用した図書館情報システムの構築実績や、オンプレミス環境からクラウド環境への移行実績がある場合は、具体的に記載すること。
- ・ 企業としての資格取得情報を記載すること。特に、「ISMAP/ISMAP-LIU、ISO/IEC 27017、ISO/IEC 27018、ISO/IEC 27701、ISO/IEC 27001、ISO/IEC 20000、SOC 2 Type 2」などのうち複数又はその他プライバシーマーク等のセキュリティ保証に係る第三者認証制度を取得している場合は、その内容を記載すること。提案するクラウド環境として取得している場合もその旨を明記すること。

2. 本業務の実施内容

(1) 業務の履行場所

- ・ 受注者の指定する履行場所において、発注者からの連絡後速やかに保守対応が可能な体制を備えることを記載すること。
- ・ 仙台市図書館各館で緊急性のあるオンサイト保守が発生した場合、発注者の連絡から1営業日以内に来館して対応できる体制を備えることを記載すること。

(2) 業務内容

- ・ 調達仕様書・システム仕様書に記した業務内容について網羅すること。

(3) 本業務の進め方

- ・ 調達仕様書に記した、本業務の進め方について方針を記載すること。
- ・ 本業務の進め方について、確実に開発を進めるための工夫や、図書館職員の作業負担軽減策、各館作業の圧縮策など、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

(4) スケジュール

- ・ 調達仕様書「5.4 開発・導入スケジュール」を基に、提案者の想定する実施スケジュールについて記載すること。
- ・ 実施スケジュールにおいて、新システムへの移行を確実に行うため、必要となる休館期間を明示すること。また、休館期間を短縮するための工夫や提案がある場合、方法等を具体的に記載すること。

(5) 作業体制

- ・ 本業務を実施する提案者の体制図・人員構成・指揮命令系統を記載すること。
- ・ 総括責任者、プロジェクトマネージャ、チームリーダーの氏名及び実務実績を記載すること。
- ・ 業務担当者のスキル及び本業務に類似した業務実績の経験を有していることが記載されており、その資格取得及び業務実績で得た知識・ノウハウを活用して本業務を問題なく実施できることを記載すること。
- ・ 調達仕様書に記した、提案者と本市の役割分担への理解について記載すること。

3. 新システムの実現内容

(1) システムに対する理解

- ・ システム仕様書「3. 本業務の範囲」に記した、業務の全範囲について理解し、対応を行うことを記載すること。

(2) 新システム構成

①システム構成

- ・ 提案するシステム構成の詳細を記載し、想定する物理ネットワーク図及び論理ネットワーク図も記載すること。
- ・ 提案の内容について、ランニングコストの妥当性についても説明を記載すること。
- ・ セキュリティが十分に確保できる構成であることを記載し、セキュリティ確保のためのランニングコストの妥当性についても説明を記載すること。

(3) 新業務パッケージソフト

①基本要件

- ・ ソフトウェアは、本市と同等以上の規模の公共図書館への導入実績がある製品化されたパッケージソフトウェアをベースとし、その名称と特徴について記載すること。

②機能要件への対応

- ・ 本項目では新業務パッケージソフトのほか、「6. 機能要件定義」に記載する図書館情報システム全体の機能要件についても取り扱う。
- ・ システム仕様書に記した機能要件について、「重要度」が「必須」の要件を全て満たすこと。「様式 2_機能要件対応表」に記した各機能要件の必須項目について、実現方法及び補足事項を記載すること。
- ・ システム仕様書に記した機能要件について、「重要度」が「加点」の要件を実現できる場合は、「様式 2_機能要件対応表」における記載内容及び得点状況を踏まえ、評価基準表に基づき加点評価の対象とする。加点項目について実現可能な場合は、標準機能、カスタマイズ又は代替対応の別を実現方法欄に記載すること。標準機能による場合は当該機能の名称又は概要を記載し、カスタマイズ又は代替対応による場合は、その内容、追加費用の有無、運用上の制約及び保守対応の考え方を補足説明欄に記載すること。
- ・ 全ての項目について、実現可否の記入欄に「○」「×」を記載すること。
- ・ 機能要件の統計業務について、特に過去の図書館要覧に記載された統計情報については各種統計資料の過去の数値と乖離が生じないように、現システムの数値と同条件の計数ができることを示すこと。

③新規機能（電子図書館サービスとの連携）

- ・ せんだい電子図書館（LibrariE & TRC-DL）との連携について、機能要件に記載した内容の実現方法を記載すること。
- ・ 電子図書館サービスとの連携について、職員の事務負担軽減及び利用者の利便性向上に対する提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

④新規機能（インターネット上でのオンライン利用登録・更新）

- ・ インターネット上でのオンライン利用登録・更新について、機能要件に記載した内容の実現方法を記載すること。
- ・ オンライン利用登録について、職員の事務負担軽減及び利用者の利便性向上に対する提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

⑤新規機能（デジタル利用者カードの発行）

- ・ デジタル利用者カードの発行について、機能要件に記載した内容の実現方法を記載すること。
- ・ デジタル利用者カードについて、職員の事務負担軽減及び利用者の利便性向上に対する提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

⑥新規機能（セルフ貸出サービスの導入）

- ・ セルフ貸出サービスの導入について、機能要件に記載した内容の実現方法を記載すること。
- ・ セルフ貸出サービスについて、職員の事務負担軽減及び利用者の利便性向上に対する提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

(4) 新拠点間ネットワーク構成

- ・ システムのネットワーク構成の詳細について、想定を記載すること。

(5) 新運用拠点

- ・ 拠点間ネットワーク構成を前提とし、運用拠点について記載すること。

(6) 新システム形態

- ・ 新システムの形態について、導入・運用形態やクラウドの方式、範囲などの詳細を記載すること。また、システム形態のうち、個人情報を保有する範囲についても記載すること。

(7) 新ホームページ

- ・ 新ホームページについて説明を記載すること。

(8) 新システム設備構成

①クラウド環境

- ・ クラウド環境について、説明を記載すること。
- ・ 仙台市行政情報セキュリティポリシーで求めるクラウド利用の要件に合致していることを示すこと。
- ・ セキュリティが十分に確保され、またランニングコストも妥当性のある提案であることを示すこと。

②クライアント端末

- ・ 想定するクライアント端末のスペックについて記載すること。用途に応じて異なるスペックを想定する場合は、用途ごとに想定を記載すること。
- ・ 想定するクライアント端末の付属機器について記載すること。
- ・ 想定するクライアント端末にインストールするソフトウェアについて、名称、機能及び導入の必要性を記載すること。用途に応じて異なるソフトウェアを使用する場合は、用途ごとに区分して記載すること。なお、一般的な Windows 端末に出荷時に標準搭載されるソフトウェアについては記載不要とする。

③プリンタ

- ・ 想定するプリンタのスペックについて記載すること。

④サーバ・ネットワーク機器

- ・ 想定するサーバ・ネットワーク機器の台数・スペックについて記載すること。

⑤新システムで使用する機器台数

- ・ 仕様案を作成するネットワーク機器・クライアント端末及びプリンタ等周辺機器について、費用概算のための賃貸借価格一式の参考見積（任意様式）を別途提出すること。
- ・ 仕様案を作成するクライアント端末、プリンタ、サーバ・ネットワーク機器について、費用圧縮のための工夫や、選定の優位性について説明がある場合、記載すること。

(9) 新グループウェア

- ・ システム仕様書「5. 10. 新グループウェア」に記した要件を満たすソフトウェアを選定し、その名称を記載すること。また、現行グループウェアソフトから必要な情報の移行が可能なことを示すこと。

(10) 非機能要件の実現方法

- ・ システム仕様書に記した非機能要件の実現手段を、網羅的かつ明確に記載すること。
- ・ システム仕様書に記した非機能要件のうち、ユーザビリティ要件及びアクセシビリティ要件を充足するための提案者独自の工夫や有用性について、具体的に記載すること。
- ・ システム仕様書「別添 3_非機能要件」の大分類「信頼性要求」の中分類「バックアップ要件」に示したバックアップ運用において、災害等を考慮したバックアップの保全性、ランサムウェア感染等のセキュリティリスクへの対策や復旧に関する提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。
- ・ システム仕様書「別添 3_非機能要件」の大分類「セキュリティ要求」の中分類「機密性」に示したセキュリティ要件において、要件を充足するための具体的な方法、工夫等について、具体的に記載すること。

(11) 業務委託要件

①システム設計

- ・ システム仕様書に記した要件等を踏まえ、作業項目、作業手順を、網羅的かつ明確に記載すること。

②テスト

- ・ システム仕様書に記した要件等を踏まえ、作業項目、作業手順を、網羅的かつ明確に記載すること。

③移行

- ・ システム仕様書に記した要件等を踏まえ、作業項目、作業期間、作業手順、実現可能なスケジュールを、網羅的かつ明確に記載すること。
- ・ 移行作業を効率的に実施するための提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。
- ・ 移行の安全性を高めるための提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

④研修

- ・ システム仕様書に記載された研修の内容とその方法を記載すること。

⑤マニュアル作成要求仕様

- ・ システム仕様書に記載されたマニュアル作成の内容とその方法を記載すること。

(12) 運用保守要件

①システム保守業務実施手順

- ・ システム仕様書に記した要件を踏まえ、システムの運用・保守の作業項目、作業手順を網羅的かつ具体的に記載すること。
- ・ 運用保守要件の報告事項や仕組み等のほか、運用保守業務期間のセキュリティに関する状況変化への対応について、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

②障害対応

- ・ システムの障害対応の作業項目、作業手順について、具体的に記載すること。

(13) サービスレベル定義

- ・ システム仕様書に記した内容が記載すること。
- ・ サービスレベルを充足するため、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。

4. 新システムの提案内容

(1) 提案

- ・ 新システムの提案内容については、任意での記載とするが、提案内容の総括として以下に留意すること。
- ・ 提案の中で、本市の図書館振興計画を踏まえた提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。
- ・ 図書館業務としての窓口業務（カウンター業務、利用者情報管理）の効率化を図るため、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。
- ・ 図書館業務としての内部業務（資料管理、統計業務、システム管理業務、職員業務）の効率化を図るため、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。
- ・ 図書館の利用者向けサービスとしての利用者端末の利便性向上・操作性向上を図るため、独自の提案がある場合は、詳細な説明を記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。

- ・ 図書館の利用者向けサービスとしての WebOPAC の利便性向上・操作性向上を図るため、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。
- ・ 図書館の利用者向けサービスとしての図書館ホームページ（ウェブサイト）の利便性向上・操作性向上・情報発信の強化を図るため、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。
- ・ 本市で導入する他システム（公式 SNS を含む）との連携の展望等について、提案者独自の工夫や有用性がある場合は、その実現方法、期待される効果、運用上の留意点を具体的に記載すること。また、これまでの提案書記載事項の中で既に記載している場合、本項目で再掲または記載した場所について記載すること。

5. その他

(1) 著作権等

- ・ 著作権等の取扱いについて、調達仕様書に記したとおりに実施することを示すこと。

(2) 機密保持、個人情報、行政情報の取扱い

- ・ 個人情報等の取扱いについて、調達仕様書に記したとおりに実施することを示すこと。

(3) 情報セキュリティ事故発生時の対応

- ・ 情報セキュリティの事故または障害発生時の対応について、調達仕様書に記したとおりに実施することを示すこと。

(4) 業務の引き継ぎ

- ・ 業務の引き継ぎについて、調達仕様書に記したとおりに実施することを示すこと。